

2020年度第3四半期 線区別の収支とご利用状況について

(4月から12月までの実績)

2021年3月3日



北海道旅客鉄道株式会社
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

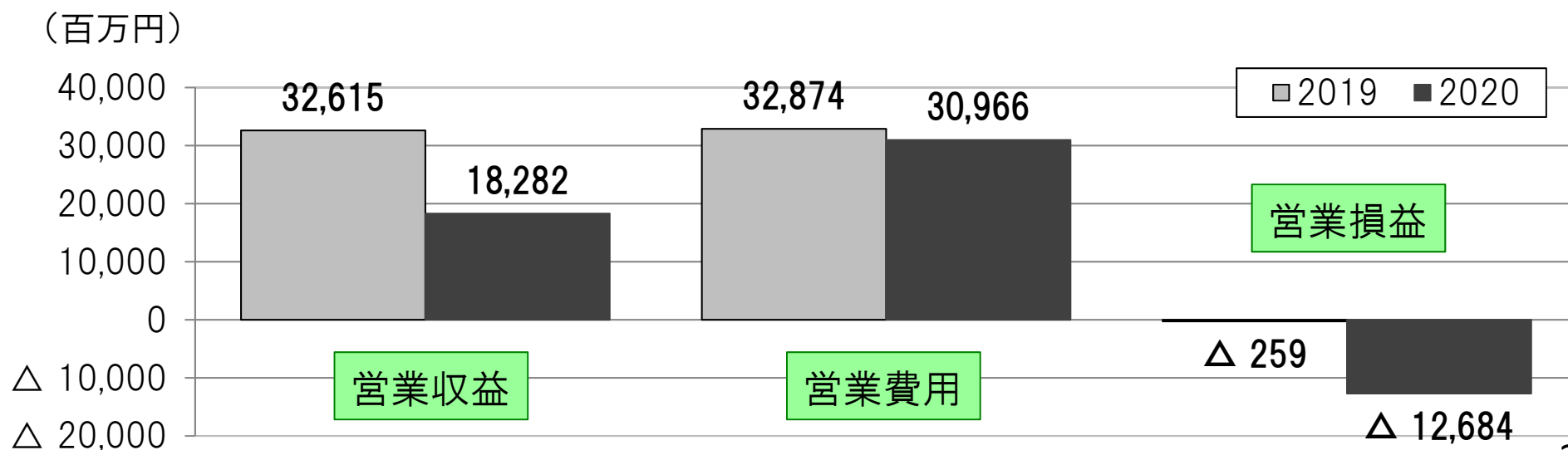
1 2020年度第3四半期のポイント ①

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益が大幅に減少し、営業損失は合計で59,729百万円となり、23,215百万円拡大しました。
- 営業損失の拡大幅は、インバウンド等の観光や出張のご利用が多く営業収益の規模が大きい [13～20] の各線区が22,308百万円と大部分を占め、このうち空港アクセスのご利用等が減少した [17] 札幌圏が12,425百万円と、全線区合計の半分以上となっています。
- ご利用状況は、営業収益と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、[17] 札幌圏や [20] 新幹線（新青森～新函館北斗）をはじめ、ほぼ全ての線区で輸送密度が大幅に減少しました。

1 2020年度第3四半期のポイント ②

○ [17] 札幌圏（4線区）の営業損失が拡大

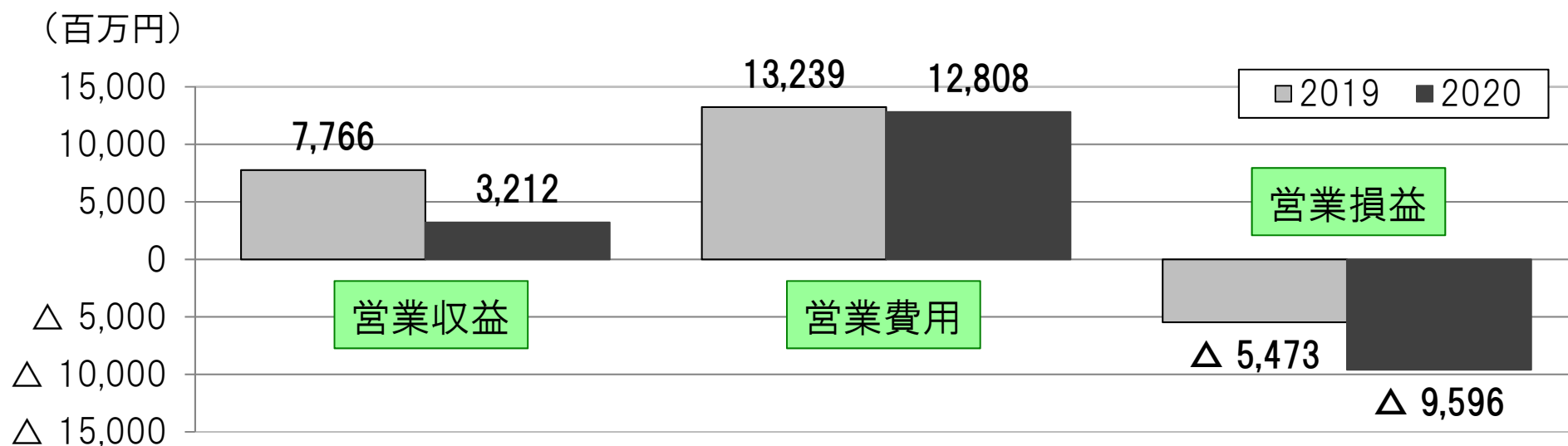
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が大幅に減少したことにより、14,332百万円減少。
- ▶ 営業費用は、線路や橋梁の修繕が減少したことやご利用の減少にあわせてきっぷの他社発売による手数料支払いが減少したこと、前年度は運賃改定に伴う券売機等の改修を実施したこと等により、1,908百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は12,425百万円拡大。



1 2020年度第3四半期のポイント ③

○ [20] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損失が拡大

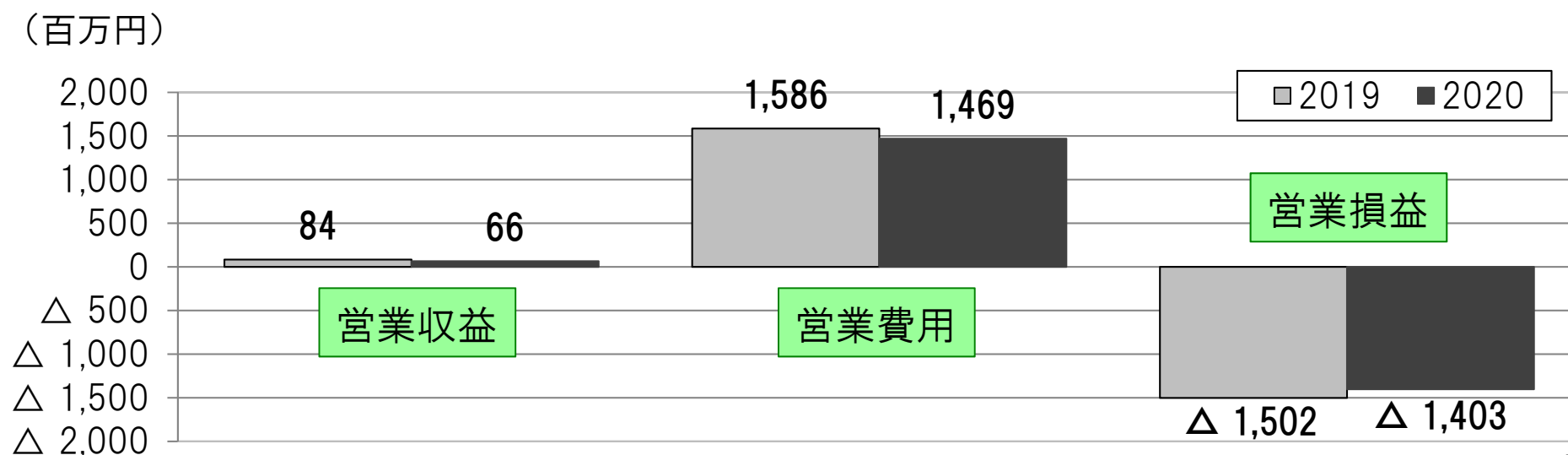
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が大幅に減少したことにより、4,553百万円減少。
- ▶ 営業費用は、線路の修繕が増加した一方、列車の減便を実施したことで他社車両の使用料が減少したことや動力費が減少したこと等により、431百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は4,123百万円拡大。



1 2020年度第3四半期のポイント④

○ [1～3] 赤・茶線区全体の営業損失が微減

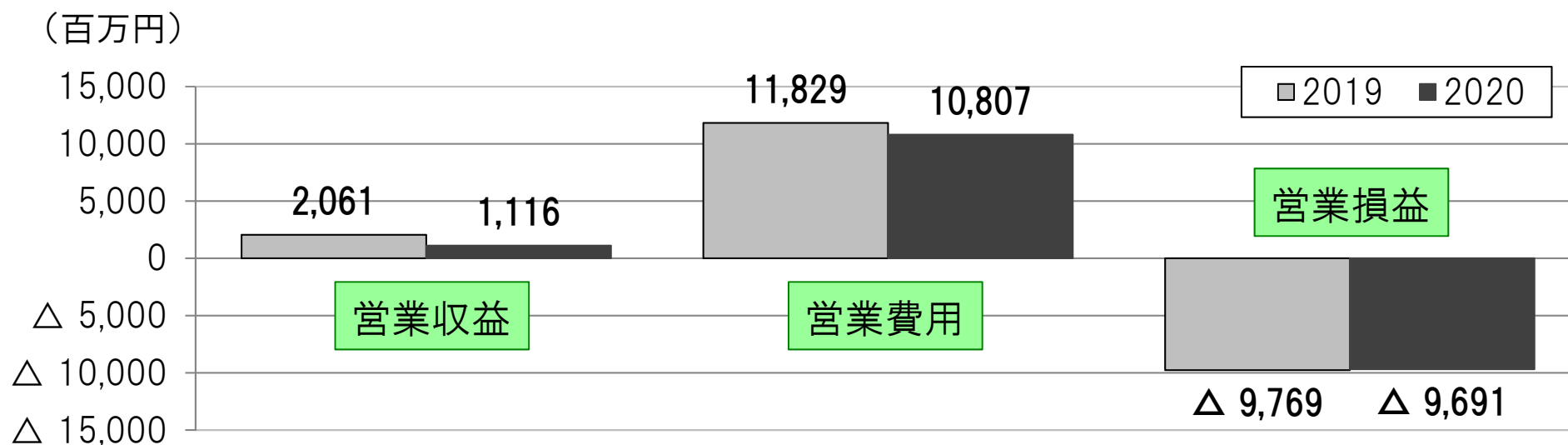
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少したこと等により、18百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[1] 根室線（富良野～新得）において列車運行区間（富良野～東鹿越）の線路の修繕が減少したことや、[2] 留萌線（深川～留萌）において線路の修繕が減少したこと等により、118百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は100百万円減少。



1 2020年度第3四半期のポイント ⑤

○ [4～12] 黄線区全体の営業損失が微減

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少したことにより、944百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[11] 石北線（上川～網走）において線路や橋梁の修繕が減少したことや、[12] 富良野線（富良野～旭川）において線路や橋梁の修繕が減少したこと等により、1,022百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は78百万円減少。



1 2020年度第3四半期のポイント ⑥

(百万円)

	[17] 札幌圏	[20] 新幹線	[1~3] 赤・茶線区	[4~12] 黄線区	その他 の線区
営業収益	18,282	3,212	66	1,116	8,372
(前年同期比)	(△14,332)	(△4,553)	(△18)	(△944)	(△9,948)
営業費用	30,966	12,808	1,469	10,807	34,727
(前年同期比)	(△1,908)	(△431)	(△118)	(△1,022)	(△3,102)
営業損益	△12,684	△9,596	△1,403	△9,691	△26,356
(前年同期比)	(△12,425)	(△4,123)	(100)	(78)	(△6,846)

※本年度の営業収益を前年同期と比べた割合

[17] 札幌圏：56.1%、[20] 新幹線：41.4%、その他の線区（[1~12] 含まず）：45.7%

2 その他増減の大きな線区

○ [13] 石勝・根室線（南千歳～帯広）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少したことにより、2,291百万円減少。
- ▶ 営業費用は、線路やトンネルの修繕が減少したことや、特急列車の減便・減車を実施したことで動力費が減少したこと等により、648百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は1,643百万円拡大。

○ [16] 函館線（岩見沢～旭川）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少したことにより、2,255百万円減少。
- ▶ 営業費用は、トンネルや駅設備の修繕が減少したことやご利用の減少にあわせてきっぷの他社発売による手数料支払いが減少したこと等により、574百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は1,682百万円拡大。

3 線区別の収支とご利用状況

別紙のとおり

2020年度第3四半期〔4～12月〕 線区別の収支とご利用状況（対2019年度第3四半期）

線名・区間			収支（百万円）									輸送密度 （人／日）			
			営業収益 （A）			営業費用 （B）			営業損益 （A）－（B）						
			2019年	2020年	増減	2019年	2020年	増減	2019年	2020年	増減				2019年
1	根室線	富良野～新得	24	16	△ 8	621	544	△ 77	△ 597	△ 528	69	90	61	△ 29	
2	留萌線	深川～留萌	30	21	△ 9	452	425	△ 27	△ 422	△ 403	18	151	95	△ 56	
3	日高線	鶴川～様似	30	29	△ 1	514	500	△ 14	△ 484	△ 471	13	112	99	△ 13	
1～3計			84	66	△ 18	1,586	1,469	△ 118	△ 1,502	△ 1,403	100				
4	宗谷線	名寄～稚内	318	163	△ 156	2,117	2,046	△ 72	△ 1,799	△ 1,883	△ 84	342	164	△ 178	
5	根室線	釧路～根室	131	77	△ 54	997	908	△ 89	△ 866	△ 831	35	266	156	△ 110	
6	根室線	滝川～富良野	104	43	△ 62	849	735	△ 114	△ 744	△ 692	52	429	200	△ 229	
7	室蘭線	沼ノ端～岩見沢	93	69	△ 24	936	931	△ 6	△ 843	△ 861	△ 18	422	325	△ 97	
8	釧網線	東釧路～網走	228	112	△ 115	1,448	1,333	△ 115	△ 1,220	△ 1,220	△ 0	397	240	△ 157	
9	日高線	苫小牧～鶴川	37	34	△ 3	283	253	△ 30	△ 246	△ 219	27	586	515	△ 71	
10	石北線	新旭川～上川	213	107	△ 106	948	856	△ 91	△ 735	△ 749	△ 15	1,112	607	△ 505	
11	石北線	上川～網走	647	329	△ 317	3,200	2,868	△ 332	△ 2,554	△ 2,539	15	753	406	△ 347	
12	富良野線	富良野～旭川	289	182	△ 107	1,051	877	△ 174	△ 762	△ 695	67	1,527	1,074	△ 453	
4～12計			2,061	1,116	△ 944	11,829	10,807	△ 1,022	△ 9,769	△ 9,691	78				
1～12計			2,145	1,182	△ 962	13,416	12,276	△ 1,140	△ 11,271	△ 11,093	178				
13	石勝・根室線	南千歳～帯広	4,014	1,723	△ 2,291	6,507	5,858	△ 648	△ 2,493	△ 4,136	△ 1,643	3,448	1,560	△ 1,888	
14	室蘭線	長万部～東室蘭	2,240	957	△ 1,283	3,394	3,091	△ 303	△ 1,154	△ 2,134	△ 980	4,874	2,000	△ 2,874	
15	室蘭線	室蘭～苫小牧	2,550	1,219	△ 1,331	4,515	4,095	△ 420	△ 1,965	△ 2,876	△ 911	6,810	3,260	△ 3,550	
16	函館線	岩見沢～旭川	4,040	1,784	△ 2,255	6,463	5,890	△ 574	△ 2,424	△ 4,105	△ 1,682	8,154	3,780	△ 4,374	
17	札沼線	桑園～医療大学										18,560	12,655	△ 5,905	
	函館線	札幌～岩見沢										43,576	26,898	△ 16,678	
	千歳・室蘭線	白石～苫小牧	32,615	18,282	△ 14,332	32,874	30,966	△ 1,908	△ 259	△ 12,684	△ 12,425	48,025	24,855	△ 23,170	
	函館線	小樽～札幌										47,595	28,915	△ 18,680	
18	宗谷線	旭川～名寄	491	281	△ 210	2,401	2,230	△ 171	△ 1,910	△ 1,949	△ 39	1,426	830	△ 596	
19	根室線	帯広～釧路	1,198	661	△ 536	3,989	3,959	△ 30	△ 2,791	△ 3,298	△ 506	1,551	931	△ 620	
20	新幹線	新青森～新函館北斗	7,766	3,212	△ 4,553	13,239	12,808	△ 431	△ 5,473	△ 9,596	△ 4,123	5,462	1,606	△ 3,856	
13～20計			54,912	28,120	△ 26,792	73,382	68,898	△ 4,484	△ 18,470	△ 40,778	△ 22,308				
21	函館線	長万部～小樽	327	172	△ 155	1,866	2,146	280	△ 1,539	△ 1,973	△ 435	627	360	△ 267	
22	函館線	函館～長万部	3,444	1,569	△ 1,875	8,481	7,435	△ 1,046	△ 5,037	△ 5,866	△ 829	3,721	1,508	△ 2,213	
21～22計			3,771	1,741	△ 2,030	10,347	9,581	△ 766	△ 6,576	△ 7,840	△ 1,264				
合計			60,844	31,048	△ 29,796	97,358	90,778	△ 6,580	△ 36,514	△ 59,729	△ 23,215	5,265	2,820	△ 2,445	
一	札沼線	医療大学～新十津川	16	5	△ 11	213	23	△ 190	△ 197	△ 18	179	71	112	41	

- (注) 1. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数）。
2. 合計の輸送密度には、バス代行を継続的に実施している区間のある日高線（鶴川～様似）と根室線（富良野～新得）の実績を含まずに算出しています。
3. 合計の運輸収入・輸送密度には、2020年5月7日に鉄道事業を廃止した札沼線（北海道医療大学～新十津川）の実績を含んで算出しています。

2020年度第3四半期〔4～12月〕 線区別の収支とご利用状況

線 名・区 間	営 業 キ 口 (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)					営業係数(円)			
			営 業 収 益 (A)	営 業 費 用		営 業 損 益		管 理 費 除 く (B)/(A)	管 理 費 含 む (D)/(A)		
				鉄 道 計 (B)	管 理 費 (C)	営 業 費 用 (D)=(B)+(C)	管 理 費 除 く (A)-(B)			管 理 費 含 む (A)-(D)	
1 根室線 富良野～新得	81.7	61	16	405	139	544	△ 389	△ 528	2,566	3,448	
2 留萌線 深川～留萌	50.1	95	21	363	61	425	△ 342	△ 403	1,699	1,984	
3 日高線 鶴川～様似	116.0	99	29	145	355	500	△ 116	△ 471	503	1,734	
1～3 計	247.8		66	913	555	1,469	△ 847	△ 1,403	1,384	2,225	
4 宗谷線 名寄～稚内	183.2	164	163	1,786	260	2,046	△ 1,623	△ 1,883	1,098	1,258	
5 根室線 釧路～根室	135.4	156	77	784	124	908	△ 707	△ 831	1,018	1,179	
6 根室線 滝川～富良野	54.6	200	43	643	92	735	△ 601	△ 692	1,508	1,723	
7 室蘭線 沼ノ端～岩見沢	67.0	325	69	814	116	931	△ 745	△ 861	1,173	1,340	
8 釧網線 東釧路～網走	166.2	240	112	1,160	173	1,333	△ 1,048	△ 1,220	1,033	1,186	
9 日高線 苫小牧～鶴川	30.5	515	34	230	23	253	△ 196	△ 219	677	746	
10 石北線 新旭川～上川	44.9	607	107	755	102	856	△ 648	△ 749	706	801	
11 石北線 上川～網走	189.1	406	329	2,510	358	2,868	△ 2,181	△ 2,539	762	871	
12 富良野線 富良野～旭川	54.8	1,074	182	758	119	877	△ 576	△ 695	417	482	
4～12 計	925.7		1,116	9,440	1,367	10,807	△ 8,324	△ 9,691	846	968	
1～12 計	1,173.5		1,182	10,354	1,922	12,276	△ 9,171	△ 11,093	876	1,038	
13 石勝・根室線 南千歳～帯広	176.2	1,560	1,723	5,173	686	5,858	△ 3,450	△ 4,136	300	340	
14 室蘭線 長万部～東室蘭	77.2	2,000	957	2,751	340	3,091	△ 1,794	△ 2,134	287	323	
15 室蘭線 室蘭～苫小牧	65.0	3,260	1,219	3,641	454	4,095	△ 2,422	△ 2,876	299	336	
16 函館線 岩見沢～旭川	96.2	3,780	1,784	5,179	710	5,890	△ 3,395	△ 4,105	290	330	
17	札沼線 桑園～医療大学	28.9	12,655	18,282	27,169	3,797	30,966	△ 8,887	△ 12,684	149	169
	函館線 札幌～岩見沢	40.6	26,898								
	千歳・室蘭線 白石～苫小牧	68.0	24,855								
	函館線 小樽～札幌	33.8	28,915								
18 宗谷線 旭川～名寄	76.2	830	281	1,937	293	2,230	△ 1,656	△ 1,949	690	794	
19 根室線 帯広～釧路	128.3	931	661	3,479	480	3,959	△ 2,818	△ 3,298	526	599	
20 新幹線 新青森～新函館北斗	148.8	1,606	3,212	10,806	2,002	12,808	△ 7,594	△ 9,596	336	399	
13～20 計	939.2		28,120	60,135	8,763	68,898	△ 32,015	△ 40,778	214	245	
21 函館線 長万部～小樽	140.2	360	172	1,907	238	2,146	△ 1,735	△ 1,973	1,107	1,245	
22 函館線 函館～長万部	147.6	1,508	1,569	6,542	894	7,435	△ 4,973	△ 5,866	417	474	
21～22 計	287.8		1,741	8,449	1,132	9,581	△ 6,708	△ 7,840	485	550	
合 計	2,400.5	2,820	31,048	78,958	11,819	90,778	△ 47,910	△ 59,729	254	292	
一 札沼線 医療大学～新十津川	47.6	112	5	20	3	23	△ 16	△ 18	419	472	
鉄 道 事 業 計	2,400.5	—	33,409	—	—	93,437	—	△ 60,028	—	—	

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

(注)1. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従事員に係る、人件費や物件費などのことです。
2. 営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。